



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年10月31日

上場会社名 ディービーエックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3079 URL http://www.dvx.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 千葉 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 魚住 洋二 TEL 03-5985-6827
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	18,892	10.3	760	7.5	780	17.4	464	1.1
29年3月期第2四半期	17,132	16.1	706	19.4	664	13.2	459	△34.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	41.21	-
29年3月期第2四半期	40.77	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	17,371	6,979	40.2
29年3月期	16,381	6,768	41.3

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 6,979百万円 29年3月期 6,768百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	0.00	-	23.00	23.00
30年3月期	-	0.00	-	-	-
30年3月期(予想)	-	-	-	23.00	23.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,377	8.8	1,171	△23.2	1,171	△21.4	783	△23.5	69.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年3月期2Q	11,280,000株	29年3月期	11,280,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年3月期2Q	2,540株	29年3月期	2,540株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期2Q	11,277,460株	29年3月期2Q	11,277,492株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、海外経済の回復を背景に、輸出や生産は好調に推移しており、個人消費は雇用所得環境の改善を背景に堅調に推移し、設備投資は企業収益の改善を受けて穏やかに回復しました。

医療を取り巻く環境につきましては、平成30年4月に実施される診療報酬、介護報酬の同時改定に向け、議論が開始されたほか、厚生労働省より心疾患の検査に使うカテーテルなど、使用が1回に限られている医療機器の再製造を認める制度の導入が発表されるなど、環境変化への対応による効率化、合理化が求められる状況となっております。

このような情勢のもと、当社では、販売代理店としては営業エリアの拡大を進めるとともに、輸入総代理店としては独自商品の販売拡大と新商材の開発・獲得に努めることで、業容の拡大を目指してまいりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は18,892,152千円（前年同期比10.3%増）となりました。営業利益は、売上増加に伴う売上総利益の増加に加え、研究開発費や薬事関連費用など一部経費の発生時期に変動が生じた一方、貸倒引当金繰入額の計上や業容拡大に伴う人件費や販売費の増加により760,034千円（前年同期比7.5%増）、経常利益は780,042千円（前年同期比17.4%増）となりました。四半期純利益は、当第2四半期において投資有価証券評価損を120,420千円特別損失に計上した影響で、前年同期比1.1%増の464,780千円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 不整脈事業

既存顧客に対するサービスの充実に努めるとともに、前事業年度に引き続き西日本エリアを中心として新規顧客の開拓にも注力いたしました。その結果、検査用電極カテーテルやアブレーション（心筋焼灼術）カテーテル類等の主力商品の販売数量が増加したことから、当第2四半期累計期間の売上高は16,402,688千円（前年同期比14.6%増）、セグメント利益は2,047,103千円（前年同期比13.9%増）となりました。

② 虚血事業

平成29年5月31日に販売を終了した自動造影剤注入装置の売上減少の影響のほか、輸入総代理店として取り扱っているエキシマレーザ血管形成システムの販売数量が前年同期と比較して減少したことから、当第2四半期累計期間の売上高は1,982,230千円（前年同期比16.4%減）、セグメント利益は715,421千円（前年同期比3.4%減）となりました。

③ その他

脳外科関連商品等が堅調に推移したことから、当第2四半期累計期間の売上高は507,234千円（前年同期比14.4%増）、セグメント利益は61,154千円（前年同期比13.6%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ1,008,572千円増加し、16,387,517千円となりました。これは主に、業績が好調に推移したことにより、現金及び預金が254,481千円、受取手形及び売掛金が303,894千円、電子記録債権が337,991千円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ18,468千円減少し、984,101千円となりました。これは主に、有形固定資産が39,980千円増加する一方、投資有価証券評価損の計上により投資有価証券が111,394千円減少したことによるものであります。

これらの結果、当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べ990,104千円増加し、17,371,619千円となりました。

（負債）

当第2四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ720,719千円増加し、10,016,587千円となりました。これは主に、仕入高の増加に伴って買掛金が398,677千円、未払法人税等が177,000千円増加したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ57,723千円増加し、375,112千円となりました。これは主に、長期借入金が45,267千円増加したことによるものであります。

これらの結果、当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比べ778,443千円増加し、10,391,700千円となりました。

（純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ211,661千円増加し、6,979,919千円となりました。これは主に、剰余金の配当により259,381千円減少したものの、四半期純利益により464,780千円増加したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は40.2%（前事業年度末は41.3%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による資金の獲得580,622千円、投資活動による資金の支出△114,634千円、財務活動による資金の支出△210,734千円等により、前事業年度末と比較して254,481千円増加して5,630,136千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税引前四半期純利益664,821千円に加え、仕入債務の増加412,100千円、投資有価証券評価損120,420千円等の増加要因があった一方、法人税等の支払△124,385千円、売上債権の増加△641,886千円等の減少要因があったことから、580,622千円の資金の獲得（前年同期は723,759千円の獲得）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得△99,487千円、無形固定資産の取得△15,630千円等があったことから、△114,634千円の資金の支出（前年同期は△44,175千円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

配当金の支払△258,960千円及び長期借入金の返済△31,774千円等があったことから、△210,734千円の資金の支出（前年同期は△292,868千円の支出）となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間において、不整脈事業が堅調に推移したこと、研究開発費、薬事関連費用等の発生時期に変動が生じたことにより、平成30年3月期通期の業績予想に対する当第2四半期累計期間の営業利益以下の各段階利益の進捗率が高くなっておりませんが、第3四半期以降において、商品導入計画の変更や、上期未執行であった販売費及び一般管理費の支出を見込んでいることから、平成30年3月期通期の業績予想につきましては、平成29年5月15日公表の「平成29年3月期 決算短信」における業績予想から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,375,654	5,630,136
受取手形及び売掛金	8,074,056	8,377,951
電子記録債権	628,215	966,207
商品	1,005,804	1,104,767
繰延税金資産	91,000	153,000
その他	219,579	220,042
貸倒引当金	△15,367	△64,587
流動資産合計	15,378,944	16,387,517
固定資産		
有形固定資産	464,390	504,370
無形固定資産	80,541	77,744
投資その他の資産		
投資有価証券	112,807	1,413
差入保証金	237,039	244,544
繰延税金資産	94,700	133,400
その他	13,090	22,628
投資その他の資産合計	457,638	401,986
固定資産合計	1,002,570	984,101
資産合計	16,381,514	17,371,619
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,678,464	9,077,141
1年内返済予定の長期借入金	49,269	52,228
未払法人税等	156,000	333,000
賞与引当金	179,908	231,668
売上値引引当金	—	47,431
その他	232,226	275,118
流動負債合計	9,295,868	10,016,587
固定負債		
長期借入金	20,849	66,116
退職給付引当金	203,782	212,240
役員退職慰労引当金	84,627	88,610
その他	8,129	8,145
固定負債合計	317,388	375,112
負債合計	9,613,256	10,391,700
純資産の部		
株主資本		
資本金	344,457	344,457
資本剰余金	314,730	314,730
利益剰余金	6,114,995	6,320,394
自己株式	△618	△618
株主資本合計	6,773,565	6,978,964
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,307	954
評価・換算差額等合計	△5,307	954
純資産合計	6,768,258	6,979,919
負債純資産合計	16,381,514	17,371,619

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	17,132,325	18,892,152
売上原価	14,540,316	16,068,472
売上総利益	2,592,009	2,823,680
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	-	63,487
給料及び手当	661,190	696,760
賞与引当金繰入額	219,703	231,668
役員退職慰労引当金繰入額	3,700	3,983
退職給付費用	17,916	22,424
その他	982,785	1,045,320
販売費及び一般管理費合計	1,885,295	2,063,645
営業利益	706,713	760,034
営業外収益		
受取利息	2,480	1,363
貸倒引当金戻入額	-	14,267
為替差益	-	1,951
デリバティブ評価益	-	1,634
その他	1,039	890
営業外収益合計	3,520	20,106
営業外費用		
支払利息	193	98
為替差損	28,591	-
デリバティブ評価損	16,926	-
営業外費用合計	45,711	98
経常利益	664,522	780,042
特別利益		
投資有価証券売却益	-	8,029
特別利益合計	-	8,029
特別損失		
固定資産除却損	889	2,830
投資有価証券評価損	-	120,420
特別損失合計	889	123,250
税引前四半期純利益	663,633	664,821
法人税、住民税及び事業税	252,361	303,503
法人税等調整額	△48,557	△103,463
法人税等合計	203,804	200,040
四半期純利益	459,828	464,780

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	663,633	664,821
減価償却費	64,982	78,525
デリバティブ評価損益(△は益)	16,926	△1,634
貸倒引当金の増減額(△は減少)	-	49,220
賞与引当金の増減額(△は減少)	56,661	51,760
退職給付引当金の増減額(△は減少)	14,931	8,457
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,700	3,983
売上値引引当金の増減額(△は減少)	110,671	47,431
受取利息及び受取配当金	△2,491	△1,378
支払利息	193	98
為替差損益(△は益)	26,219	771
投資有価証券評価損益(△は益)	-	120,420
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△8,029
固定資産除却損	889	2,830
売上債権の増減額(△は増加)	△134,026	△641,886
たな卸資産の増減額(△は増加)	△104,938	△106,302
仕入債務の増減額(△は減少)	489,605	412,100
未払消費税等の増減額(△は減少)	△12,238	28,142
その他	△54,084	△4,748
小計	1,140,635	704,583
利息及び配当金の受取額	769	551
利息の支払額	△180	△127
法人税等の支払額	△417,463	△124,385
営業活動によるキャッシュ・フロー	723,759	580,622
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△33,741	△99,487
無形固定資産の取得による支出	△8,965	△15,630
投資有価証券の売却による収入	37,106	8,029
差入保証金の差入による支出	△39,313	△8,095
差入保証金の回収による収入	755	564
その他	△16	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,175	△114,634
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	80,000
長期借入金の返済による支出	△34,556	△31,774
自己株式の取得による支出	△71	-
配当金の支払額	△258,241	△258,960
財務活動によるキャッシュ・フロー	△292,868	△210,734
現金及び現金同等物に係る換算差額	△26,219	△771
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	360,496	254,481
現金及び現金同等物の期首残高	4,677,810	5,375,654
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,038,307	5,630,136

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。